

1 小学校低学年の指導例（1）

◆ 主題名 伝える心 指導内容 B [礼儀]

資料名 あいさつ+1（プラスワン） （王寺町郷土資料① 王寺町教育委員会）

◆ ねらい

見守りのおじさんの笑顔を見たときや、あいさつの際の笑顔を担当の先生に認められたときの主人公の心情を考えることを通して、時や場に応じたあいさつなどにより自分も相手も気持ちよくなることを理解し、気持ちのよいあいさつを心がけ、明るく接しようとする実践意欲や態度を育てる。

◆ 展開のあらまし

○主な発問 ・予想される児童の意識	指導上の留意点	備考
<p>○ ヨシトが、カナのようにあいさつをしたいと思ったのはどうしてでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分もおじさんを笑顔にしたいと思ったから。 ・カナのように元気なあいさつをしたいから。 ・いつもあいさつやプラスワンがうまく言えないから。 	<p>◆ 主人公がそう思ったのは、おじさんの笑顔を見ながらであることを押さえ、相手が気持ちよくなるようなあいさつをしたいと願う主人公の心情にせまることができるようにする。</p>	
<p>◎ ミカ先生の言葉を聞いてとてもうれしくなったヨシトは、どんなことを思っていたでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ぼくのあいさつも先生をうれしい気持ちにできたんだ。よかったな。 ・うまくあいさつができなかったのに先生が喜んでくれたなんて。 ・言葉以外のプラスワンがあったなんて知らなかったな。 ・ぼくにもいいところがあったんだな。うれしいなあ。 	<p>◆ 先生にとっては主人公のどんなところがプラスワンだったのかを押さえたり、プラスワンがどうして大切だと思うかを問い返したりするなどし、自分も相手も気持ちよくなるようなあいさつなどが大切であることに気付くことができるようにする。</p>	ワークシート
<p>○ あなたなら、あいさつや人に声をかけるとき、どんなひとことを付け加えようと思いますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見守りの人に、いつもありがとうございますって付け加えたい。 ・友達と別れるときには、また明日も遊ぼうって付け足そう。 ・困っている友達がいたら、どうしたのって声をかけたい。 	<p>◆ 実際の場面や人を取り上げて具体的に考え、話し合うようにするなど、実践につながるようにしたい。あいさつなどで気持ちよかった体験を話し合うこともできる。</p> <p>◆ 児童の実態や時間配分の工夫により、ワークシートに書き込んで考えさせてもよい。</p>	

※ 展開のあらましに加え、導入として教材への興味喚起や追究する課題把握ができる活動等を、終末としてさらに見方や考え方を広げ深めるような説話や学習の振り返り等を行うなど、教材やねらい、児童の発達段階等に応じて指導を工夫したい。